Human Metabolome Technologies, Inc.

2027年6月期第1四半期
決算補足説明資料

2026年11月

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 (6090)

本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

2027年6月期第1四半期　業績サマリー

ライフサイエンス研究支援サービスで国内製薬・アカデミア分野での売上が大幅に増加。仕入減少、潤沢な受注による仕掛増により売上原価が減少した結果、売上総利益が大幅に増加。
販売費・一般管理費が横ばいで推移したことから、営業損失・経常損失が大幅に改善。

(単位：百万円未満切捨)
(表中の△は損失)

	2026年6月期 第1四半期	2027年6月期 第１四半期	増減額	増減率
売上高	192	253	61	31.6%
営業利益	△ 91	△ 4	86	-
経常利益	△ 90	0	89	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 97	△ 3	93	-
１株当たり当期純利益（円）	△ 17.10	△ 0.59	16.51	-

本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

2027年6月期Q1 サービス別売上結果

国内ライフサイエンス研究支援サービスが復調。海外は低調なまま。機能性素材開発支援サービスとバイオものづくり支援サービスは、当期は端境による減少。

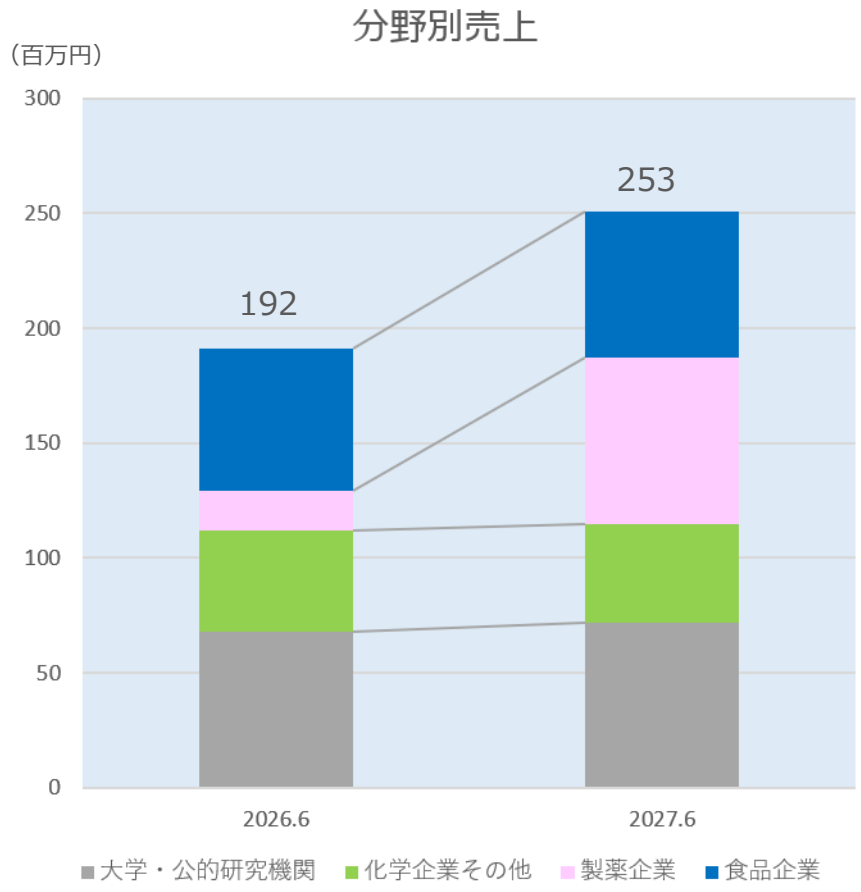
(単位：百万円)　(表中の△は減少・ 百万円未満切捨て)

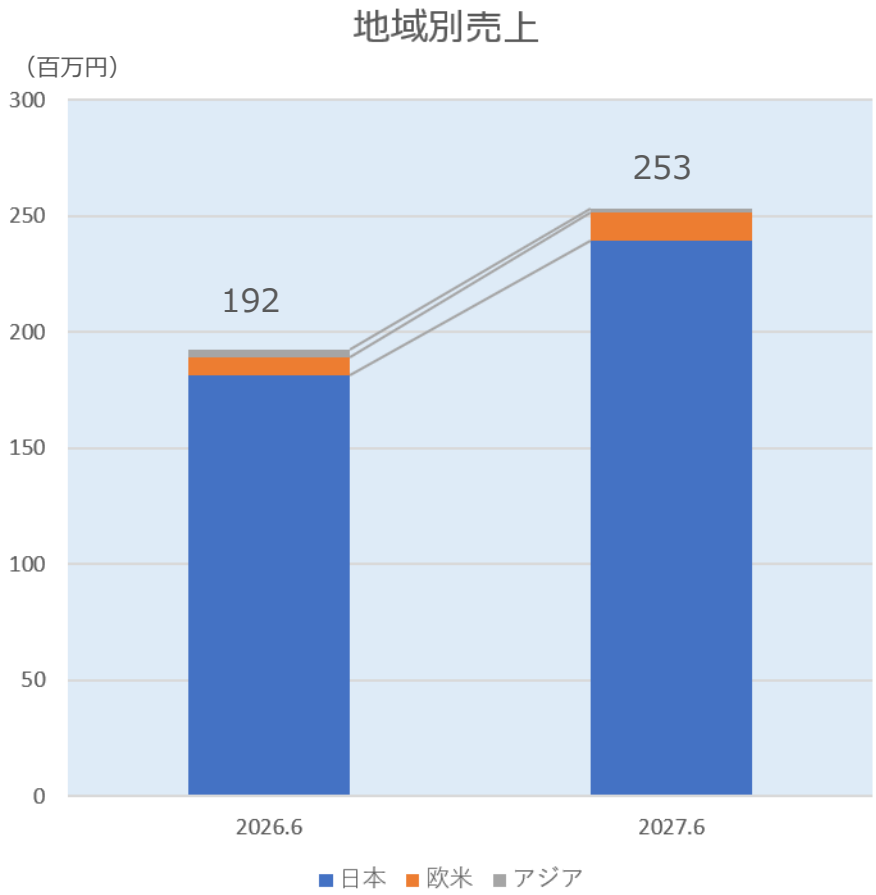
	2026年6月期 第1四半期	2027年6月期 第１四半期	増減額	増減率	主要因
ライフサイエンス研究支援サービス（LSS）	122	194	71	58.1%	国内製薬企業からの大型案件が牽引。国内アカデミアも好調に推移。海外は総じて低調なまま。
機能性素材開発支援サービス（FDS）	36	28	△8	△22.5%	臨床案件の端境期。
バイオものづくり支援サービス（BMS）	33	30	△2	△7.6%	アカデミアとの共同研究案件が端境期。
合計	192	253	61	-	

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

2027年6月期Q1 分野/地域別売上結果

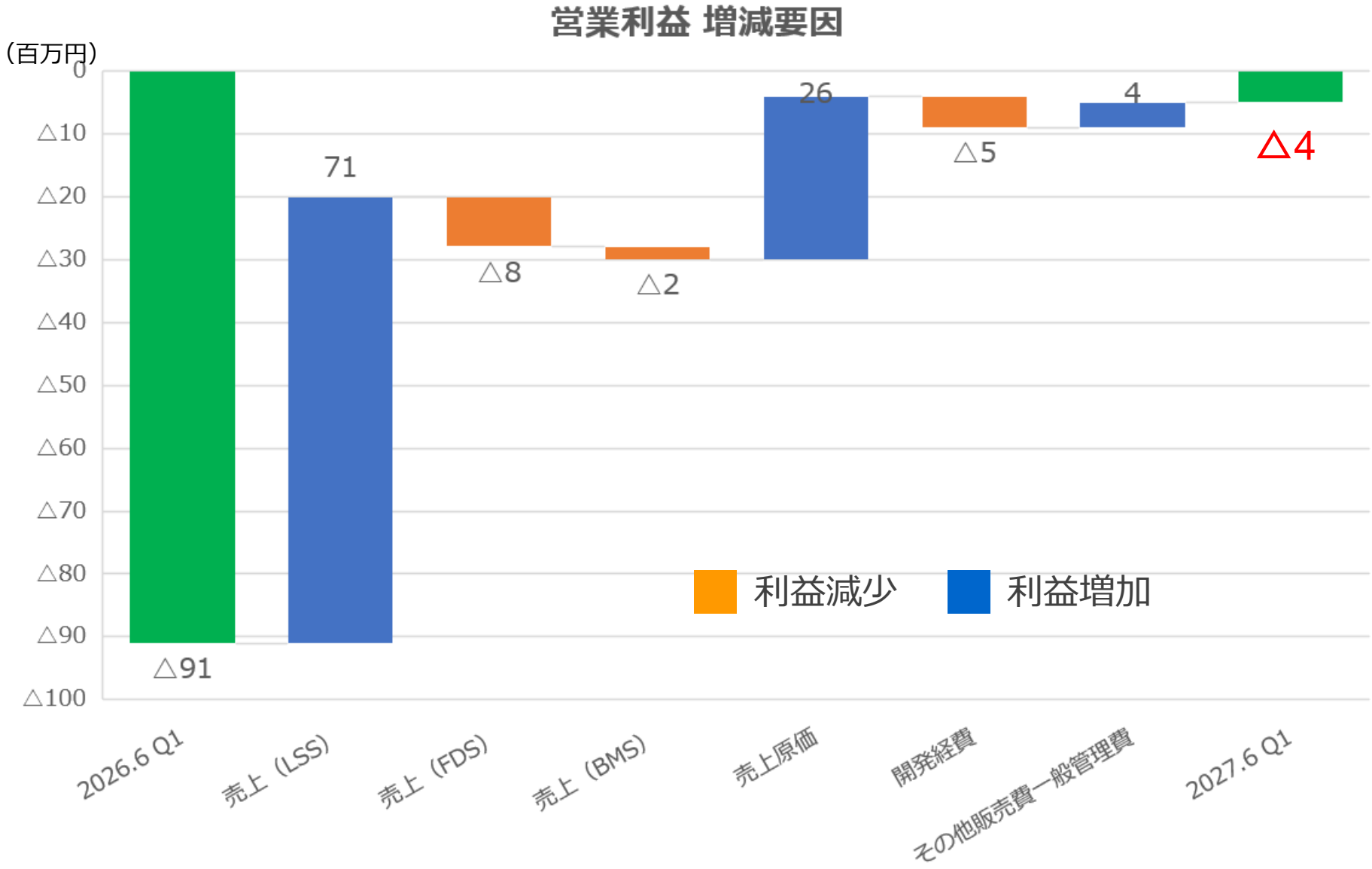
国内製薬大型案件が牽引。バイオものづくり支援サービスも製薬分野で増加。
アカデミア分野も国内ライフサイエンス研究支援では増加。
食品分野も国内ライフサイエンス研究支援サービスが増加し、堅調に推移。
化学その他の分野は横ばいで推移。
海外売上は低調な状況が継続。





本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

営業利益



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

参考資料

© Human Metabolome Technologies, Inc.

会社概要



ヒューマン･メタボローム･テクノロジーズ株式会社

設立年月日：2003年7月1日

資本金：1,488百万円

取締役（社内）：大畑　恭宏（代表取締役社長）

紙　健次郎（取締役）

（2026年６月現在）

創業者：

冨田 勝 慶應義塾大学名誉教授

曽我 朋義 慶應義塾大学教授

主な事業内容：バイオデータ解析受託

売上高（直近）：1,421百万円

従業員数（連結）：65名（博士：12名）

（2026年6月現在）

本社：山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2

東京事務所：東京都中央区新川2-9-6

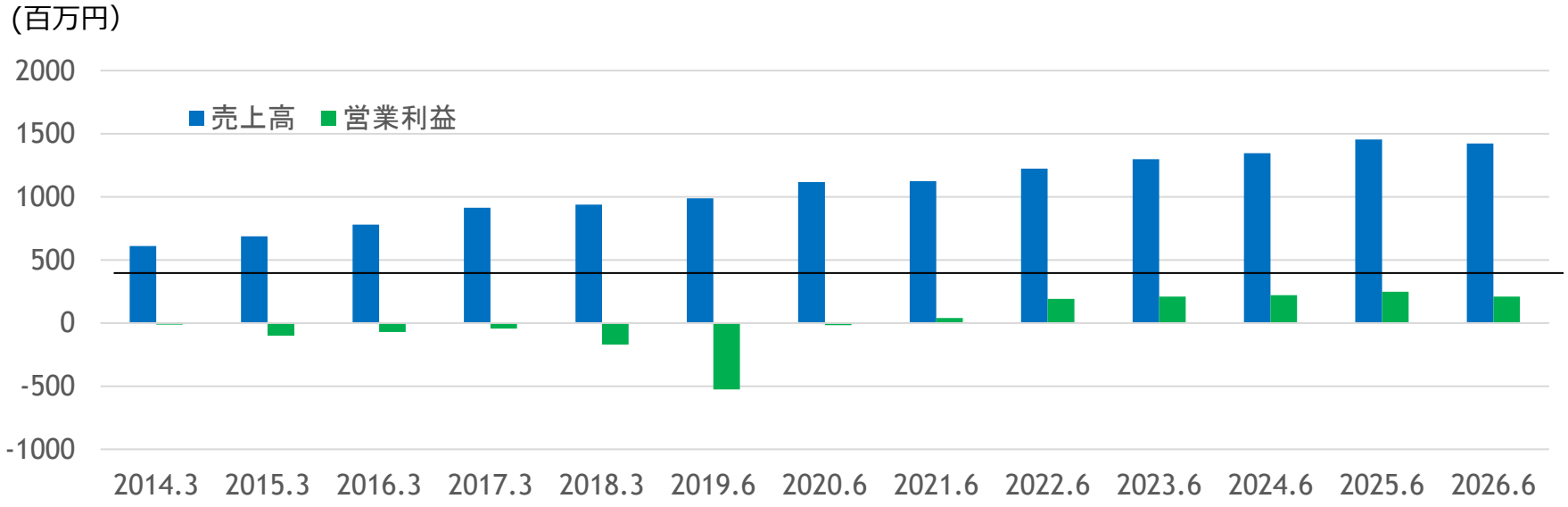
シュテルン中央ビル5階

子会社：HMTアメリカ　アメリカボストン

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

会社概要（沿革）

2001	● 慶応義塾大学先端生命科学研究所、山形県鶴岡市に開所
2003	● 創業（創業者：慶応義塾大学　冨田氏、曽我氏）
2012	● Human Metabolome Technologies America Inc. 設立
2013	● 上場（東証マザーズ（現グロース市場）：6090）
2023	● 創業20周年
2025	● 東証スタンダード市場上場（市場区分変更）



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

本資料の取り扱いについて

本資料に含まれる将来の見通し等に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後のマクロ経済動向、市場環境や当社の属するライフサイエンス業界の動向、当社の研究開発の進捗、その他内部及び外部要因により変動することがあります。

そのため、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通し等に関する記述と異なるリスクがあることを予めご了承ください。

© Human Metabolome Technologies, Inc.